

「唐津コスメティック構想」とは、唐津市と玄海町を中心として、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す取り組みのことです。

### ●唐津コスメティック構想のきっかけは？

平成24年、フランスの化粧品メーカーが唐津を訪れたことが始まりです。アジア大陸に近いこと、化粧品の原料となりうる農産物が豊富なことなどから、唐津が日本版のコスメティックバレー（フランス中部のシャルトルを中心に、化粧品企業・研究機関・大学などが集まる、世界最大の化粧品産業集積地）になる可能性を見いだされました。

### ●どんな取り組みを行っているの？

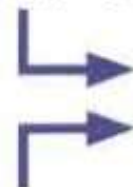
佐賀県・唐津市・玄海町・民間企業・大学などが連携し、産学官連携組織「ジャパン・コスメティックセンター（JCC）」を平成25年11月に設立。地域資源を生かした経済活動の活性化と、雇用の創出を目指し、唐津市と玄海町を中心にコスメ企業を集め地域を元気にするための取り組みを進めています。

#### ※今回のポイント※

「唐津コスメティック構想」とは、唐津市と玄海町を中心にコスメ企業を集め、仕事と雇用を増やし、地域を元気にする取り組み！

国際取引の拡大

地域資源の活用



国際的な  
コスメの産業集積地



コスメ環境の整備

関連企業の誘致



☎ コスメティック産業課  
(☎53-7148)

## 唐津コスメティック構想ミニ講座 ②地産素材の活用

唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。今回は「地産素材の活用」について紹介します！

### ●地産素材にはどんなものがあるの？

唐津コスメティック構想では、唐津・玄海地域の豊かな自然に育まれた天然由来原料に注目し、化粧品の原料として国内外の企業に提供できないか、素材の探索・研究・産地化に取り組んできました。

現在は離島のツバキをはじめ、ミカン花やホーリーバジルなどの素材が、化粧品の原料として多くの企業に提供されています。

### ●地産素材からどんな商品ができているの？

これまでに佐賀県産の素材を使った化粧水やリップクリーム、シャンプー、石けんなど31社120種類（うち唐津産26社92種類）の製品が商品化・販売されています。

#### ※今回のポイント※

ツバキやミカン花など、佐賀県産素材を使った化粧品が次々と商品化。また耕作放棄地を活用し、ホーリーバジルやローゼルなど、新たな素材の栽培にも取組中！



▶ ツバキ  
▶ ホーリーバジル



▶ ミカン花  
▶ ローゼル



▲唐津産素材を使った化粧品

☎ コスメティック産業課 (☎53-7148)

## 唐津コスメティック構想ミニ講座 ③JCCポップアップギャラリー

唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

今回は「JCCポップアップギャラリー」(呉服町商店街内)について紹介します！

### ●どんなギャラリーなの？

唐津コスメティック構想やJCCの活動紹介、JCCが商品開発に携わった佐賀県産素材を活用した化粧品や、九州・沖縄各県の魅力あふれる化粧品を、「九州コスメ」ブランドとして展示・販売しています。

ほかにも、市内の高校生とJCCで化粧品の共同開発に取り組むなど、地域との連携やコスメ関連での人材育成の場としての役割も担っています。

地域の素材をいかした商品と情報を皆さんに届けていきます。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！

### ※今回のポイント※

「JCCポップアップギャラリー」では、JCCの活動紹介や地産素材を活用した化粧品などを展示・販売しているほか、市内の高校生とJCCが共同して商品開発を行うなど、地域との連携・交流にも取り組んでいます！



▲ギャラリー入り口



この看板が目印！

### ▼最新情報やイベント情報はこちら▼



Facebook



Instagram

JCCPOPUPGALLERY

所在地：唐津市刀町1516番地  
びんつけやビル1F

電話番号：79-6015

営業時間：10:00～18:00(毎週火曜定休日)

問 コスメティック産業課 (☎53-7148)

## 唐津コスメティック構想ミニ講座 ④コスメ環境の整備

唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。  
今回は「コスメ環境の整備」について紹介します！

### ●産学官連携の推進

唐津コスメティック構想では、大学や研究機関とのネットワークをつくり、コスメ分野での共同研究や人材育成に取り組んでいます。また、玄海町薬用植物栽培研究所では、化粧品や健康食品の原料として活用できる薬草の研究が行われています。

### ●佐賀大学×JCC共同研究講座を開設！

今年6月、佐賀大学に、同大学とJCCの共同研究講座「化粧品科学講座」を開設しました。化粧品の研究ができる環境と、学生への化粧品科学教育の場を整えることで、県内への美容・健康産業集積に向けた産学官連携の強化を目指します。

※今回のポイント※

「化粧品科学講座」の開設により、佐賀大学で化粧品について学べるようになりました！今後さらに、県内で化粧品の研究や技術開発が進んでいくことが期待されます！

### ▼研究者の紹介

徳留 嘉寛（とくだめ よしひろ）さん



JCCプロジェクトリーダー兼  
佐賀大学共同研究講座「化粧品科学講座」リージョナル・イノベーションセンター  
特任教授・博士（薬学）

### ▼「化粧品科学講座」ウェブサイトはこちら



徳留教授の詳しい紹介や研究室の活動を日々発信していきます！



※資金を出資する民間企業などから研究者と研究費を受け入れて、大学の教員と研究者が共同して研究を行うことにより、優れた研究成果が生まれることを促進する制度

☎コスメティック産業課（☎53-7148）

## 唐津コスメティック構想ミニ講座 ⑤国際取引の拡大

唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。今回は「国際取引の拡大」について紹介します！

### ●海外化粧品クラスター（集積地）との連携

平成25年4月のフランス・コスメティックバレーと唐津市との協力連携協定締結を皮切りに、JCCにおいてもフランス・コスメティックバレーをはじめ5か国と連携協定を締結し、ビジネス交流を続けています。



### ●海外への販路開拓・海外からの対日投資

海外でのテストマーケティングやCosmetic360（フランスでの国際展示会）への出展支援など、地産化粧品の新たな販路獲得を目指すための取り組みや、日本貿易振興機構（ジェトロ）「地域への対日直接投資サポートプログラム」を活用した、海外コスメ企業の唐津市進出に向けた活動を行っています。

#### ※今回のポイント※

国際展示会や商談会に地元企業が参加し、地産化粧品の輸出が成功するなど、海外化粧品クラスターとのネットワークをいかし、各国の企業と世界中にビジネスチャンスが広がっている！



▼10/13~14に開催された  
Cosmetic360の様子



問 コスメティック産業課 (☎53-7148)

## 唐津コスメティック構想ミニ講座 ⑥コスメ関連企業の集積

唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。今回は「コスメ関連企業の集積」について紹介します。

### ●コスメ関連企業が次々と唐津に進出！

もともとコスメ関連企業が浜玉地区に集まっていたましたが、県・市の企業誘致部門とコスメティック産業部門が協力して誘致活動を行い、関連企業が増加したことで、現在では約200人が働かれています。各社、環境に配慮した製品づくりや、SDGs達成に向けた事業にも積極的に取り組まれています。

市では、雇用を生み出し、地域経済を元気にするために、これからも誘致活動を行っていきます。

松浦通運(株)／  
物流・保税倉庫



(株)ブルーム／  
化粧品検査・分析



岩瀬コスファ(株)／  
化粧品原料



(株)トレミー／  
化粧品受託製造



(株)クレコス／  
化粧品製造



東亜製薬(株)／  
化粧品受託製造



問 コスメティック産業課  
(☎53-7148)

**NEW! 令和4年操業開始予定**

- ◆本州印刷(株)／化粧品パッケージ
- ◆(有)ルズ／香水製造



化粧品に興味のある人、  
働いてみませんか？



## 唐津コスメティック構想ミニ講座 ⑦ジャパンメイド・ビューティアワード

唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。今回は「ジャパンメイド・ビューティアワード」について紹介します。☎コスメティック産業課(☎53-7148)

### ●ジャパンメイド・ビューティアワードとは？

日本各地の優れた美容・健康商材を集め、表彰するイベントです。毎年全国から魅力ある美容アイテムがエントリーされ、美容・健康業界の第一線で活躍するキーパーソンやパイヤーで構成される審査員が審査を行います。このイベントを通じて販路開拓や海外展開へのステップにつながります。

### ●ジャパン・コスメティックセンター (JCC)関連企業が優秀賞を受賞！

昨年9月に開催された7回目のこのイベントで、市内のJCC関連企業(呼子町)が開発した、唐津産素材を活用した化粧品が優秀賞を受賞しました(右写真)。

鎮西町加唐島産のツバキ油が活用され、日本固有の地産ツバキがいかされていることや、原料から商品化まで一貫した物語があることなどが評価されました。



▲令和3年10月14日に市長表敬訪問し、受賞を報告

### 受賞した化粧品を開発した松尾聡子さんのコメント

このアワードで、平成29年に同じツバキ油を配合した洗顔石けんで優秀賞を獲得しました。今回は2回目の受賞となります。このような全国で表彰される名誉ある賞をいただき大変光栄です。コスメを通じて地域の豊かな自然や素材をアピールできたことが、何よりうれしく誇らしかったです。

昨年11月には、インナービューティーをコンセプトに「食べるコスメ」として「椿油ドレッシング」と「本搾り食用椿油」を発売しました。今後も多くの人たちの力添えをいただきながら、努力を重ねて参ります。より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 唐津コスメティック構想ミニ講座 ⑧高校・大学との連携

- 唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。今回は「高校・大学との連携」について紹介します。

### ●化粧品を作ってみよう！ ～バーム作り体験～

昨年12月、唐津南高等学校の「地域の産業を知る」授業の一環で、地産の甘夏やグレープフルーツ（さがんルビー®）などを使ったバーム作りを行いました。

唐津コスメティック構想では、今後も地域や高校生との連携を進め、若者が唐津の地でコスメビジネスに挑戦できるような環境の整備・人材育成に取り組んでいきます。

### ▼バーム作りの様子



### ●化粧品をもっと知ろう！ ～佐賀大学共同研究講座「化粧品科学講座」(令和3年6月開設)～

#### <佐賀大学特任教授 徳留嘉寛とくどめよしひろさんのコメント>

唐津市は、化粧品産業に力を入れている、国内でも数少ない自治体です。私は、これまでに培ってきた化粧品に関する知識や技術をこの地でいかしたいと思っています。化粧品は日々生活するうえで楽しみを与えてくれるアイテムです。そんな化粧品もしっかりと使い方を考えないとカラダ（皮膚）に対して悪さをすることもありますので、使用者の皆さんが科学的に化粧品を理解することが大事です。化粧品について考えること、研究することに興味のある人は、まずは「化粧品科学講座」ウェブサイトのをぞいてみてください！



徳留 嘉寛さん  
JCCプロジェクトリーダー兼佐賀大学  
共同研究講座「化粧品科学講座」  
リージョナル・イノベーションセンター  
特任教授・博士（薬学）



←「化粧品科学講座」  
ウェブサイトはこちら

問 コスメティック産業課  
(☎53-7148)